



平成 23 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 J Xホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 高萩 光紀  
コード番号 5020 東・大・名証第1部  
問合せ先 財務IR部 IRグループマネージャー  
山本 真義  
(電話番号 03-6275-5009)

### 当社子会社による英領北海 22/25a 鉱区における 天然ガス・コンデンセートの確認に関するお知らせ

当社子会社のJX日鉱日石開発株式会社（本社：東京都千代田区大手町二丁目、社長：古関 信）が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limited（社長：古関 信）は、英領北海に保有する 22/25a 鉱区内カリーン構造にて 2008 年に発見した天然ガス・コンデンセート層に対する評価井を掘削し、その広がりを確認いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これに伴う現時点での当社連結業績への影響は軽微です。

以 上

「添付資料」英領北海 22/25a 鉱区における天然ガス・コンデンセートの確認について

2011年3月11日  
JX日鉱日石開発株式会社

各位

## 英領北海 22/25a 鉱区における天然ガス・コンデンセートの確認について

当社(社長:古関 信)が100%出資する英国法人 JX Nippon Exploration and Production (U. K.) Limited (社長:古関 信 以下、JXNEPUK)は、英領北海に保有する 22/25a 鉱区内カリーン構造にて 2008 年に発見した天然ガス・コンデンレート層に対する評価井を掘削し、その広がりを確認いたしましたので、お知らせいたします。

JXNEPUK は、オペレーターの Maersk 社(本社:デンマーク)等と共にカリーン構造における探鉱事業を推進しており、2008 年 12 月には、本構造に対して掘削した試掘井が成功し、天然ガス・コンデンレートを発見しております。2010 年 6 月より、本構造の広がりを確認するために評価井を掘削してまいりましたが、この度、深度 4,500 メートル付近における三畳紀およびジュラ紀の貯留層で相当量の天然ガス・コンデンレートが存在することが確認されました。産出テストを実施した結果、テスト装置の能力の上限である日量約 4 千万立方フィートの天然ガスと同 900 バレルのコンデンレートをそれぞれの層にて確認いたしました。

カリーン構造の発見は近年の英領北海での発見の中でも特に重要なものになることが期待されております。今後は、埋蔵量を確認するための評価作業を継続し、商業化に向け開発計画の検討を進めてまいります。

当社グループは、事業機会が豊富で、生産中の油・ガス田が多い英領北海地域を、コア地域のひとつと位置付けております。今後も同地域で、石油・天然ガス開発事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

### 【権益保有会社】

権益保有会社	権益比率 (%)	会社概要
Maersk Oil North Sea UK Ltd. (オペレーター)	49.99	デンマーク大手海運会社 Maersk の英国での石油開発子会社
JX Nippon Exploration and Production (U. K.) Limited	17.06	JX 日鉱日石開発(株)の100%子会社
Eni UK Ltd.	16.95	イタリアの石油メジャーEni の英国子会社
Britoil Public Limited Company	16.00	英国の石油メジャーBP の石油開発子会社
合計	100.00	

以上

別添資料

JX Nippon Exploration and Production (U. K.) Limited の概要、22/25a 鉱区位置図

1. JX Nippon Exploration and Production (U.K.) Limitedの概要

- (1) 社長：古関 信
- (2) 株主：JX日鉱日石開発（株）100%
- (3) 資本金：5,751万ポンド
- (4) 設立：1996年12月2日

2. 22/25a 鉱区位置図

